

# 糸遊び



## 1 松田光輝

「ふることぶみ」「古事記」より  
古事記上7巻の天地創造から三貴子誕生までを  
式づくりと原文を交えて語ります。  
もともと二人芝居に創った作品を再構築。

## 2 西村剛市

「三匹の子ぶた」  
ジョーゼフ・ジェイコブズ原作西村剛市脚色  
昔々、三匹の子ぶたを産んだ母ぶたがいました。  
母ぶたは子ぶたを育てていくことができなかつたので、  
子ぶたの将来を想って外に出すことにしました。

## 田原順子と弟子達による創作琵琶弾き語りの会

……好きな話を琵琶で語りたい

## 5 藤高理恵子

「蜂龍の盃〜大師河原酒合戦〜」茨城春朔「水鳥記」より  
1648年、神奈川県川崎市の大師河原で酒合戦が行われた。  
江戸の地黄坊樽次が率いる東軍を、地元の大蛇丸底深を主将とする  
西軍が迎え撃つ。酒豪たちが繰り広げる酒呑み対決の勝敗やいかに……。

## 6 ナカムラユウコ

「赤い蠟燭と人魚」小川未明作  
海岸にある小さな町、貧しい蠟燭屋の老夫婦は  
人魚の子を拾い、大事に育てる。娘は美しく成長し、  
老夫婦への想いから蠟燭に赤い絵の具で絵を描いた。  
やがてその蠟燭が評判になり……  
幼い頃に読んだ哀しい話です。

## 田原順子

「たなばた」  
中勘助作 鳥の物語《カササギの話》より  
田原順子 台本  
皆様ご存知の「七夕」伝説。  
もともとは中国の伝説が日本に入って日本の伝説とも  
混ざり合い、様々な形になっている様です。  
2006年、第一回「糸遊び」に出品した  
作品を創り替えました。  
\*頭の番号は出演順ですが、当日入れ替わる場合も  
ありますのでご了承ください。

## 3 藤本はるか

「月とあざらし」小川未明作  
北方の重く凍った空と海。  
風と雪が互いに譲らずぶつかり合う冷たい氷の世界で、  
くる日もくる日も同じ氷山の上につづくまっついている  
一匹のアザラシ。アザラシは体いつまで、  
そして何の為にそこにいるのでしょつか。

## 7 横田桂子

「カンダタ・ソング……《蜘蛛の糸》」芥川龍之介原作  
皆様ご存知、「蜘蛛の糸」。ある日、地獄の「血の池」でもがく大悪人  
「健陀多」の頭上に蜘蛛の糸がするすると。  
芥川龍之介作品は「杜子春」「ラ・シヨームン（羅生門）」に続き三作目。

## 8 遠山顕

「和英昔語り」「福ノ神爺さん」  
Good-luck Old Man  
日本昔話より 遠山顕 脚色  
Adapted from Japanese folklore by Ken Toyama.  
ある村に住む、仕方ないほど貧しいじさまが、どん詰まりの大晦日、  
ある暴卒に出た……。  
Once upon a time in a village far away,  
an old man in extreme poverty made a  
reckless attempt to get out of his plight on the New Year's Eve……

## 4 室井三紀

「やまとしうるわし」倭健命「古事記」より  
父、景行天皇の命令により神々を平定するために  
東へと向かった倭健命。東国での戦い、  
弟橘比売、美夜受比売との出会いのなかで、  
たけるが見たものは……。

- 日時 2012年11月24日(土)  
開場 15時30分 開演 16時00分
- 料金 入場券：2500円(全席自由)
- 会場 座・高円寺2(杉並区立杉並芸術会館)  
東京都杉並区高円寺北 2-1-2  
Tel 03-3223-7500  
JR中央線「高円寺」駅の北口を出て徒歩5分
- チケット申し込み、問い合わせ、その他連絡先：田原順子  
Tel & Fax. 042-365-7420  
Mail : biwa-jun@s9.dion.ne.jp

